

# 浅間山噴火を想定したロールプレイング方式防災訓練実施報告

日時 平成25年2月1日(金) 14:00~16:00  
 場所 利根川水系砂防事務所  
 参加機関 28機関 利根川水系砂防事務所、長野国道事務所、陸上自衛隊、群馬県、長野県、嬭恋村、長野原町、小諸市、軽井沢町、御代田町、警察、消防、気象庁、(株)プリンスホテル、東日本高速道路(株)  
 参加者 82名  
 主催 浅間山火山防災対策連絡会議・利根川水系砂防事務所

## 防災訓練のシナリオ

- ①訓練実施前の状況
- 訓練前提条件
    - 1.31 小規模な噴火発生 山麓に降灰 噴火警戒レベル2
    - 2.1 積雪深 車坂峠 47cm  
 天候 晴れ 気温-3°C 予想最高気温 2°C  
 風 西風3.2m/s (気象庁 田代観測所)
- ②訓練開始
- 14時00分 中規模噴火発生 浅間山火山ルートに噴石
  - 14時30分 中規模噴火発生 火口北側で火砕流発生 前橋付近まで降灰
  - 15時10分 群馬県側に融雪型火山泥流被害の確認 別荘住民より救援要請
  - 15時30分 火山活動の沈静化

## 実施目的

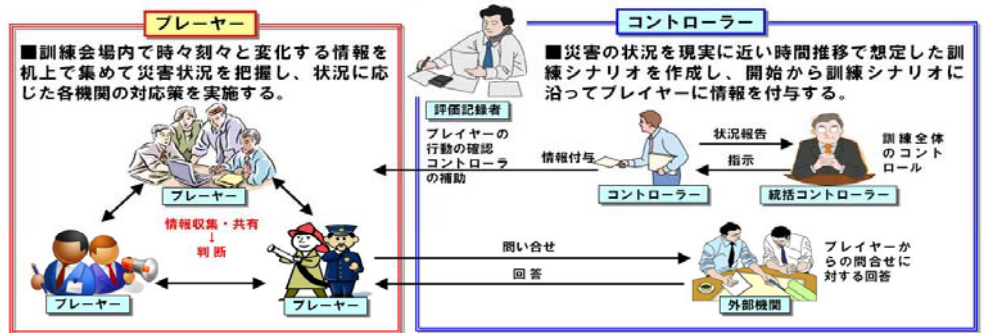
浅間山噴火時の防災対応を円滑かつ効果的に実施するためには、平常時からの防災訓練が重要になります。

このため、浅間山周辺の自治体及び防災関係機関等から構成される浅間山火山防災対策連絡会議では、浅間山噴火時の防災対応の確認と関係機関の情報共有の実践を目的としたロールプレイング方式の防災訓練を実施しました。

## ロールプレイング方式訓練とは

防災訓練には実働型と図上型があり、ロールプレイング方式防災訓練は図上型です。

机上で情報を集めて、災害状況を疑似体験し災害対策の一員として、どのように対応していくかを習得するための訓練です。(疑似体験訓練法)



参加機関の各プレイヤー訓練状況



プレイヤー訓練全景



コントローラー訓練全景

## 西 真佐人事務所長による講評



実際の災害では、様々な情報が錯綜する状況となり、毎回状況が変わることとなるが、それに柔軟に対応しなければなりません。この浅間山の訓練は、全国的にも先導的であり、ここに参加された方々は柔軟な対応が図れるものと思っております。地元住民のためにも今後もよい仕事ができるよう連携が図れることをお願いします。